

製品構成

機能名称	機能概要
マネージャ WebSAM MCOperations Base Manager	監視対象から収集した監視情報を一元管理し、ビューアへの通知、監視対象への対処実行指示、制御を行う。 主な機能：サービス/プロセス監視、メッセージ監視、ファイル/ディレクトリ監視、ログ監視、性能監視、ナレッジ管理、通報管理、リカバリコマンド実行、メッセージ相関分析。
エージェント WebSAM MCOperations Base Agent	監視対象サーバに導入し、サーバ内の稼働状況やログを監視しマネージャへ通知、マネージャからの対処指示を受けて処理を実行する。エージェントを導入しないサーバ(リモートホスト)についても、リモート監視エージェントから同機能の監視が可能。
ビューア WebSAM MCOperations View	監視端末 (Webブラウザでの監視も可能)。
シナリオ制御 (オプション) WebSAM MCOperations Workflow Manager / Agent	障害時の対処や一連の運用業務など、複数のコマンドを組み合わせた複雑なフローをあらかじめGUIでシナリオ登録することで、時刻やメッセージ契機での自動実行と運行状態の監視を行う。
オペレーション制御 (オプション) WebSAM MCOperations Operations Manager / Agent	運用でよく利用するマネージャやエージェントへのコマンドを定型化し、実行契機 (時刻・メッセージ・手動) に、監視端末から実行することでオペレーションミスを防止する。
ServiceManager連携 (オプション) WebSAM MCOperations Base Manager ServiceManager Option	WebSAM ServiceManagerによりインシデント管理を行う場合に、WebSAM MCOperationsで検知したインシデントを、メッセージ契機で自動/手動で登録。
SigmaSystemCenter連携 (オプション) WebSAM MCOperations Base Manager Provisioning Option	WebSAM SigmaSystemCenterとの連携により、仮想化環境の物理・仮想・論理の各層における構成要素と関連を視覚的に表示。
アプリケーション連携 (オプション) WebSAM MCOperations Base Manager ApLinker Option	WebSAM MCOperationsで監視したメッセージを、外部アプリケーション向けにテキストファイル形式で出力。
システム性能分析 (オプション) WebSAM MCOperations Invariant Analyzer Option	WebSAM Invariant Analyzerとの連携により、WebSAM MCOperationsが収集した性能情報をリアルタイムでインバリエント分析し、平常時の挙動との違いから見つけにくいサイレント障害を検知。
マネージャ連携 (オプション) WebSAM MCOperations Hierarchical Manager Option	拠点や業務システムごとに導入した複数のマネージャの上位に階層的にマネージャを導入して一元管理する。

動作環境

対応プラットフォーム	マネージャ	エージェント	リモートホスト	リモート監視エージェント	ビューア
Windows Server 2012	-	○	-	-	-
Windows Server 2008 / 2008 R2	○	○	○	○	○
Windows Server 2003 / 2003 R2	○	○	○	-	○
Windows 7 Professional	-	-	-	-	○
Windows Vista Business	-	-	-	-	○
Windows XP Professional	-	-	-	-	○
Red Hat Enterprise Linux ES4 / AS4	-	○	-	-	-
Red Hat Enterprise Linux 5 / 6	○	○	○	-	-
SUSE Linux Enterprise Server 10 / 11	-	○	-	-	-
Miracle Linux 3.0 / 4.0(Asianux Server 2)	-	○	-	-	-
Oracle Linux 5	-	○	-	-	-
Oracle Linux 6	-	-	○	-	-
HP-UX 11iv1	-	○	-	-	-
HP-UX 11iv2 / 11iv3	○	○	-	-	-
Solaris 9 / 10 / 11	-	○	-	-	-
AIX 5 / 6 / 7	-	○	-	-	-

●リモートホストとは、エージェントレス監視において監視対象となるサーバを指します。
●最新の詳しい情報については、製品ホームページをご覧ください。

WebSAMカタログ一覧

[コーポレートマネジメント](#)
[総合管理](#)
[サービス管理](#)
[資産管理](#)
[IT全般統制支援](#)

[オペレーションマネジメント](#)
[ジョブ管理](#)
[ソフトウェア配布](#)
[プラットフォーム管理](#)
[ITツクマガ](#)

[システムマネジメント](#)
[サーバ管理](#)
[ネットワーク管理](#)
[ストレージ管理](#)
[アプリケーション管理](#)

人と地球にやさしい情報社会へ

REAL IT PLATFORM G2
クラウド・コンピューティングを支える次世代 IT 基盤

お問い合わせは、下記へ

NEC プラットフォーム販売本部
(ソフトウェアお問い合わせ)
〒108-8424 東京都港区芝五丁目33番8号(第一田町ビル)
TEL:03(3798)7177
【受付時間】9:00~12:00 13:00~17:00 月曜日~金曜日(祝日・NEC所定の休日を除く)
E-mail : contact@soft.jp.nec.com

●本カタログ中のシステム名、製品名、会社名、及びロゴは各社の商標または登録商標です。
●本カタログの内容は改良のため予告なしに仕様・デザインを変更することがありますのでご了承ください。
●本製品の輸出(受取者への役務提供等を含む)に際しては、外国為替及び外国貿易法等、関連する輸出管理法令等をご確認の上、必要な手続きをお取りください。
●ご不明な場合、または輸出許可等申請手続きに当たり資料等が必要な場合には、お買い上げの販売店またはお近くの弊社営業拠点にご相談ください。

WebSAM MCOperations
ウェブサム エムシーオペレーションズ

統合管理ソフトウェア



システム全体を統合管理し
自律サイクルによる運用の自動化で
システムの安定稼働と
運用の効率化を実現します。

適用効果

システム全体をシンプルに可視化

仮想化環境を含めたシステム全体を操作性の良い統合コンソールでシンプルに一元管理。異常箇所と影響範囲を瞬時に把握できます。

障害分析・対処の迅速化

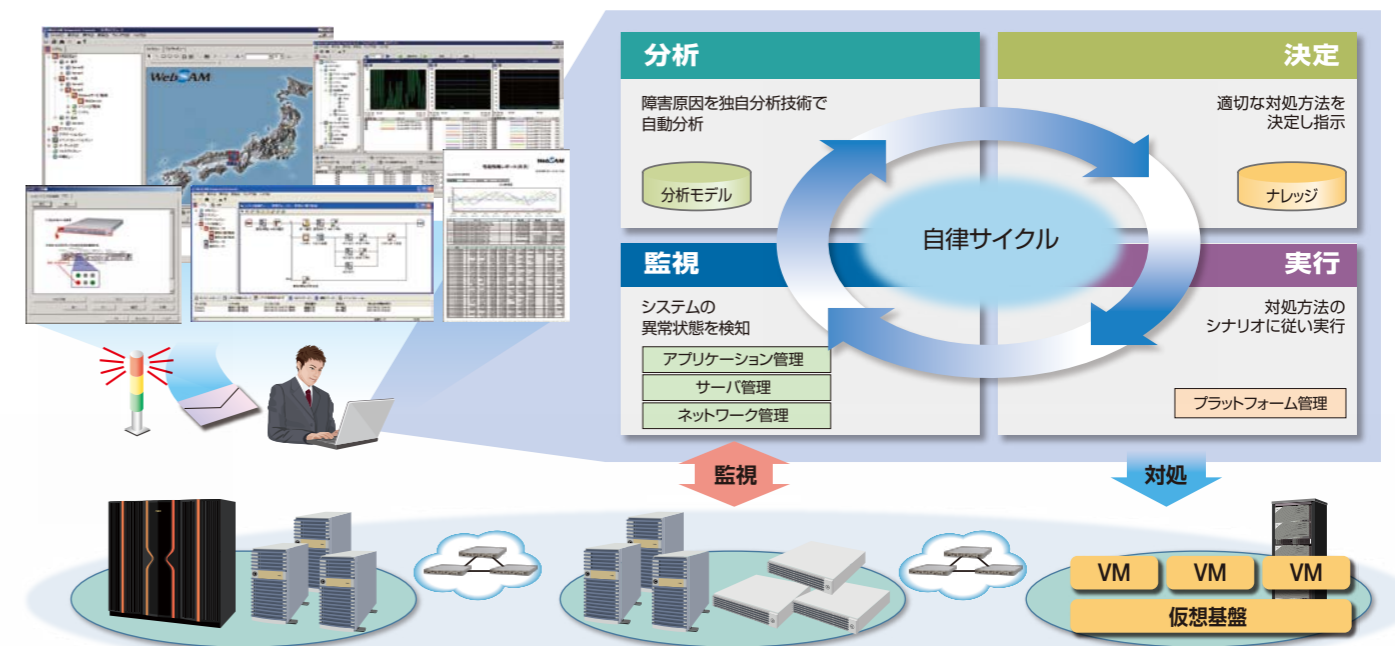
障害原因分析を独自技術で自動化し、日々の運用で蓄積した対処ノウハウを活用することで、障害復旧作業を迅速化します。

自律サイクルに沿った自動化

お客さまの運用方針に合わせた運用の自律サイクルを実現し、運用管理の現場を強力にサポートします。

運用イメージ

マルチベンダ/マルチプラットフォーム環境のシステム全体を統合コンソールで一元的に管理し、異常の検知から障害原因分析、対処方法の判断、実行までを、お客様の運用方針に合わせて自動化します。



システム全体をシンプルに統合管理、異常検知から原因分析、対処、実行までを自動化 安定稼働と運用の効率化を実現します。



システム停止による影響は、復旧にかかるコストだけでなく、ビジネス機会の損失や顧客への信頼失墜にまで及びます。WebSAM MCOperationsは、複雑化するシステム全体を統合管理し、監視／分析／対処／決定の運用サイクルに合わせて自動化することで、異常の早期発見と復旧の迅速化を実現し、効率的に安定稼働を維持します。

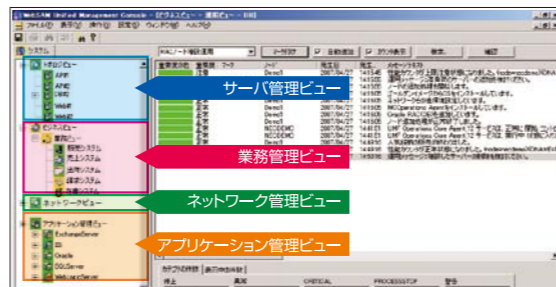
一元「監視」で異常箇所を瞬時に把握

マルチベンダ/マルチプラットフォーム環境のシステム全体を、操作性に優れた統合コンソールでシンプルに一元監視します。

システム全体を一元監視し、状態把握を容易に

マルチベンダ/マルチプラットフォーム環境のサーバからOS、アプリケーション、ネットワークまで、各管理製品との連携により一元監視します。オペレーションミスの起こりにくい人間工学に基づいた統合コンソールによって、複数の管理製品の画面を切り替えることなく、1つのウィンドウでシステム全体の状態把握が容易にできます。障害発生を色や音、電子メールや回転灯などで、リアルタイムに通報でき、迅速な検知が可能です。また、「WebSAM ServiceManager」との連携により、ITIL®に準拠した高品質なITサービス管理を実現します。

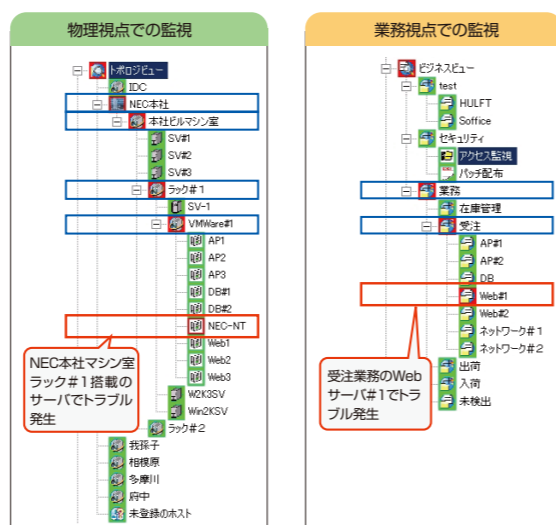
● 統合コンソール



業務視点の監視で影響範囲を可視化

イベントログ/Syslog/アプリケーションログなどから取得したメッセージや、他の運用管理製品との連携により取得したメッセージを、業務システムや組織単位にグループ化してツリー表示することで、障害発生が業務に与える影響範囲を即座に把握できます。このような業務視点での監視に加えて、管理対象をロケーションや役割別にカテゴリ化して階層管理する物理視点の監視をすることで、物理的な障害箇所の特定を支援します。

● 物理・業務視点での監視



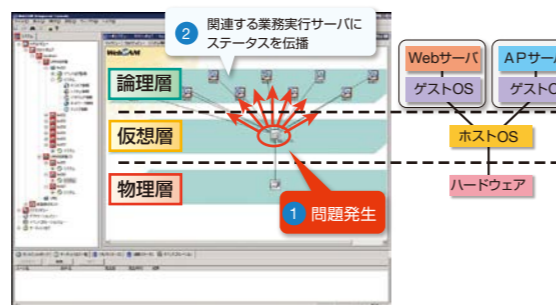
性能低下などの障害予兆を即座に検出

各サーバの稼働状況(CPU/メモリ使用率等)を監視し、しきい値超過による性能低下を早期に発見、異常事態になる前に障害を未然に防止することが可能です(監視対象サーバにエージェントを導入しなくても、リモートホストから同機能の監視が可能)。アプリケーション管理「WebSAM Application Navigator」と連携することで、Oracleなどのアプリケーションの詳細な稼働状況を同一画面で監視することもできます。また、収集した性能情報は、過去データや関連性のある異なる複数の性能情報と自由に並べて1つのグラフで比較表示したり、PDFファイル形式の帳票に出力することも可能です。

仮想化環境の構成を可視化

プラットフォーム管理「WebSAM SigmaSystemCenter」との連携により、仮想化環境においては、物理(HW)・仮想(ホストOS)・論理(ゲストOS上のアプリケーション)の各層における構成要素とその関連を視覚的に表示できるので、ある構成要素に障害が発生した場合でも影響範囲を容易に可視化することが可能です。

● 仮想化環境監視



システム全体の稼働状況を様々な視点で可視化し、効率的に障害・障害予兆の発生箇所をいち早く検知できます。

障害原因を自動「分析」

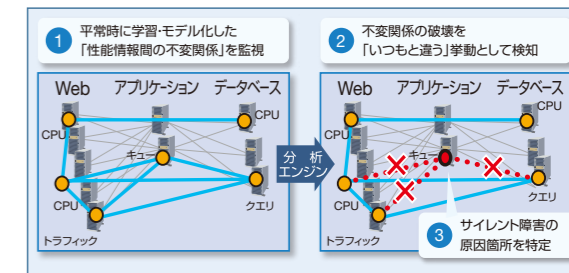
収集した膨大な性能情報を独自技術で分析し、見つけにくいサイレント障害の検知や障害原因の特定を支援します。

独自の性能分析技術により、サイレント障害を検知

平常時、システムの性能情報間に存在する不変関係(インバリアント)を学習してモデル化。そのモデルと一致しない「いつもと違う」挙動を、サイレント障害として検知します。システムの構成を詳細に把握することなく、性能情報を入力するだけで管理者に負担をかけずに分析ができます。

膨大な性能情報の分析や原因特定にかかる時間と労力を大幅に低減します。

● システム性能分析



適切な対処方法を「決定」し、ナビゲート

対処方法を蓄積したナレッジを活用して、障害発生時には「何が発生したか」だけでなく、「何をすべきか」までナビゲートします。

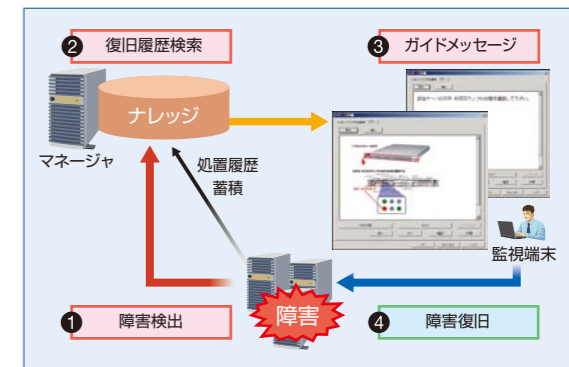
日々の運用ノウハウを蓄積、即活用

お客さまが日々の運用で講じた対処をナレッジとして蓄積・共有化することで、障害が再発した際の対処時間を短縮化することができます。また、対処履歴以外にも、障害発生時に、運用マニュアルやWebサイトの該当ページを参照させたり、お客さまの環境に合わせて容易にカスタマイズすることが可能です。運用を継続するうちに対処ノウハウが蓄積され、障害対応レベルを成長させることができます。

さらに、NECの豊富なシステム構築・運用経験をもとに、OS、データベース等の主要なミドルウェア製品の監視設定項目や対処方法を定義した製品ナレッジも提供しています。

対処判断を迅速化し、管理者のスキルに依存しない高いレベルの運用を実現できます。

● ナレッジによる障害復旧



対処フローに従い自動「実行」

障害発生時の対処や、定期的なメンテナンスなど煩雑な日々の運用作業を、予めシナリオに登録しておくことで自動化します。

シナリオ制御で対処フローを自動化

障害発生時の対処フローを予めシナリオに登録することで、自動対処が可能です。シナリオはGUIで部品を配置しながら簡単に定義することができ、対処フローの進捗状況も一目瞭然で、処理が異常になった場合でも迅速に対応ができます。また、定期的な再起動やメンテナンスのための計画的なシステム停止などの運用業務を、時刻契機で自動化することも可能です。

煩雑な業務フローを自動化することで、人手によるミスを無くし、管理者の運用負担を軽減します。

● シナリオ制御ビュー

